

### (3) 文化・芸術的価値

歴史的景観資源は、人々の構想力と想像力により創り出したものであり、そこには社会と人々との生活が表現されています。

文化的価値とは、歴史的景観資源に込められた生活や社会の姿に宿るものであり、都市の繁栄や暮らしの文化を物語るもの、地域の特徴的な素材が活かされているもの、優れた緑景観を形成しているなど、社会全体の到達点を示すものです。

芸術的価値とは、外観・内部の意匠・デザインが優れている、構造物としての魅力や迫力を有しているなど、その時代の新しい空間表現、構造・造形美などによる価値です。

これらの客観的な判断には専門家への相談等も必要ですが、絵やスケッチ、写真に収めたくなる魅力等、主観的、心情的な判断基準も加えられる価値です。

- 都市の繁栄や暮らしの文化を物語っている
- 意匠・デザインが優れている
- 構造物としての魅力や迫力を有している
- 地域の素材が活かされている
- 優れた緑景観となっている など



#### 豊平館

(中央区中島公園・明治13年(1880年)築)

明治13年建設、昭和33年に現在地に移築された開拓使の代表的な初期洋風建築。内外意匠の各所に和風意匠も見られる。昭和61年完成の復元修理工事で、白色系とウルトラマリンブルーの鮮やかな外観が復元されている。



#### 日本基督教団札幌教会

(中央区北1条東1丁目・明治37年(1904年)築)

木造教会の焼失後、明治37年再建の木骨石造教会。札幌軟石を外観に活かし、ロマネスク風の塔やゴシック風の尖りアーチとバラ窓など、近代ビルが立ち並ぶ中心市街地の中で、個性豊かな表情を見せている。



**サッポロビール博物館・ビール園**

(東区北7条東9丁目・明治23年(1890年)築)

明治23年建設の札幌製糖工場を、同36年に麦酒醸造に改修転用し、昭和40年まで工場として使用された。内部の防火床構造や、外観のアーチ窓などに往時の姿をとどめ、魅力ある造形を見せている。



**旧北海道庁立図書館**

(中央区北1条西5丁目・大正15年(1926年)築)

大正11年の摂政宮(皇太子)行幸を記念し、同15年に道庁建築課の設計により建設。古典的な構成をアレンジした風格ある図書館で、当時の都市文化の香りを伝えている。



**旧北海道湯**

(東区北7条東3丁目・明治末期～大正初期築)

当時の札幌市街北東端部に位置する元銭湯。切妻三角屋根にれんが造の外観は、ほぼ当初のまま。明治から大正期の街の繁栄と暮らしを伝えている。



**八紘学園資料館サイロ**

(豊平区月寒東1条13丁目  
・昭和18年(1943年)頃改築)

明治末頃建設の巨大な石造サイロ1基を解体移築の際2基にした。直径18尺、高さ37尺の石造サイロが並ぶ姿は迫力ある景観を見せている。かつて農村地域であった月寒のシンボルでもある。